

(福祉関連事業への参加者数)

(単位:人)

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (目標)
福祉関連講演会	29	31	28	40
福祉関連ワークショップ	26	50	45	50※ ²
福祉関連パフォーマンス	125	151		
みんなのアトリエ (障害児者向けワークショップ)	214	191	189	240
託児	27	34	25	30
未就学児ワークショップ※ ¹	98	39	31	40
計	519	496	318	400

※1 未就学児ワークショップは実施年度により、子どものみの参加の場合と、親子参加の場合がある。25年度は親子の合計人数。

※2 27年度までは、福祉ワークショップ1回、福祉パフォーマンス1回と分けていたが、28年度より、「福祉ワークショップもしくはパフォーマンスを2回開催する」こととし、目標数を合算した。

【実施目標】

- ・年齢や障害の有無などにかかわらず、美術に親しんでもらう（環境づくりの）ための各種事業を行う。
- ・必要に応じて、対話鑑賞等の人的サポートを実践する。
- ・託児サービスを積極的に周知していく。

[目標設定の理由]

- ・各種事業を通じて、美術館が健常者のみの施設ではないこと、障害の有無に関わらず美術を楽しめること、また各年齢や状況に応じた楽しみ方があることを伝えていきたいと考えています。
- ・設備や什器を新規に導入するよりも、対話鑑賞のような人的対応を充実させることのほうが、福祉の充実につながると考えています。
- ・障害者等のニーズを、職員が実践を通して知ることによって、次年度以降の取り組みや長期計画に活かしていきたいと考えています。
- ・子どもをもつ方が安心して美術館事業に参加できるようにするためには、託児サービスについても広く知っていただくことが必要と考えています。

⑧ 事業の質を担保しながら、経営的な視点をもって、効率的に運営・管理する。

【事業計画】

- ・エネルギーの消費管理を行い、省エネ対策を推進します。
- ・サービスを低下させず、経営的な視点で委託業務の見直しを行います。
- ・四半期毎に消費エネルギーの数値等を職員全員に周知し、コスト意識の啓発を図ります。

【達成目標】 電気使用量、水道使用量、事務用紙使用枚数を直近3年間の平均値以下とする。

【目標設定の理由】

- ・電気料、水道使用料、下水道使用料は、美術館の総事業費の約17.7%を占めることから、達成目標を定め管理していく必要があります。
- ・職員が努力した効果を目に見えて感じることができる目標として、電気使用量、水道使用量、事務用紙使用枚数を、直近3年間（H25～H27）の平均値以下を当面の目標とします。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標)
総電気使用量(kwh)	2,571,895	2,582,595	2,540,390	2,564,000
電気使用量(昼間) (kwh)	1,754,173	1,800,387	1,718,576	1,757,000
電気使用量(夜間) (kwh)	817,722	782,208	821,814	807,000
水道使用量(m ³)	4,055	4,077	4,396	4,170
事務用紙使用枚数 (枚)	209,241	216,104	211,250	212,000

【実施目標】 職員全てが費用対効果を常に意識し、事業に取り組む。

【目標設定の理由】

- ・サービスを低下させず経費を削減しスリムな運営体制を目指すためには、職員全員が費用対効果を常に意識した行動が必須であると考え、実施目標としました。

横須賀美術館 平成28年度予算

◎横須賀美術館の使命・目標別 歳出予算

単位:千円

使命・目標	H28		H27
	当初予算	前年度比	当初予算
I 美術を通じた交流を促進する	5,455	△ 4742	10,197
① 広く認知され、多くの人にとって横須賀市を訪れる契機となる。	4,941	△ 4742	9,683
展覧会の実施	③に掲載		
広報・集客促進事業	4,941	△ 4742	9,683
② 市民に親しまれ、市民の交流、活動の拠点となる。	514	0	514
II 美術に対する理解と親しみを深める	98,876	2,222	96,654
③ 調査研究の成果を活かし、利用者の知的欲求を満たす。	92,630	2,266	90,364
展覧会事業	84,817	2,244	82,573
教育普及事業	3,190	△ 52	3,242
美術図書室運営事業	4,623	74	4,549
④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する。	1,384	△ 1	1,385
学校との連携	387	△ 1	388
子どもたちへの美術館教育	997	0	997
⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する。	4,862	△ 43	4,905
III 訪れるすべての人に安らぎの場を提供する	239,307	7,496	231,811
⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する。	237,442	7,498	229,944
⑦ すべての人にとって利用しやすい環境を整える。	1,865	△ 2	1,867
⑧ 事業の質を担保しながら、経営的な視点を持って、効率的に運営・管理する。	0	0	0
合 計	343,638	4,976	338,662

◎美術館費全体の予算

単位:千円

	内容	H28		H27
		当初予算	前年度比	当初予算
歳入合計(A)		82,277	5,445	76,832
観覧料		49,031	5,022	44,009
駐車場使用料		12,753	13	12,740
その他(図録販売等)		20,493	410	20,083
歳出合計(B)		456,689	7,018	449,671
給与費	職員給料、非常勤職員報酬、委員報酬、社会保険料等	113,051	2,042	111,009
展覧会事業	展覧会の開催に要する経費	84,817	2,244	82,573
教育普及事業	教育普及活動に要する経費	6,953	△ 55	7,008
美術品収集管理事業	収集保存管理に要する経費	4,862	△ 43	4,905
運営事業	広報、地域連携、図書室の運営、パンフレット印刷物制作など館全体の運営に要する経費	9,564	△ 4,668	14,232
管理事業	維持管理に要する経費	237,442	7,498	229,944
差引(B-A)		374,412	1,573	372,839